

その他の建築工事業における金属材料を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	会社内資材置き場にて、片付け作業を一人で行っていて、地上にある物を拾おうとしゃがみこんだ時に、立ててあったジャッキベース（鉄製、高さ35cm、直径約35mm程度）の上に誤って股間を強打し、尿道管を損傷した。	41	—
1	11~12	馬房の修理作業中、馬小屋の窓の鉄格子にある釘を抜いた際、釘が勢い余って右目に当たり負傷した。	63	—
1	18~19	弊社の資材置場で片づけ作業をしていた際、積み上げていた長さ3.6mの支柱の束に誤って左足のひざを強打した。痛みを感じながら作業していたが、痛みが増してきて、骨折していることが判明した。	29	1~9
1	11~12	解体現場で鉄骨のガス切断中、誤って足の上に落としてしまった。	43	1~9
1	6~7	当社資材置き場にて、パイプ（塩ビ製、直径9cm、長さ4m、三本括り、重さ20kg）を車の出入りの邪魔にならない所へ2人で移動させ、地面に下ろし終わり、立ち上がろうとしたとき、腰が痛くて立てなくなった。	29	1~9
2	14~15	内装解体工事において、天井補修を行っていたところ、天井ボード張り作業が終わり、脚立足場の足場板上（約750mm）から降りた際、床にコンクリート釘が残っていたため、左足親指付近に釘が刺さってしまった。	19	—
2	11~12	現場地上にて、被災者以外の5名と共に屋根材吊治具トラス（L=5,500、100kg/本）を組立作業中、トラス接合部分のプレートに手を添えてしまい、接合時に、プレートとプレートの間で手を挟まれ、負傷した。	62	—

2	15~16	不燃間仕切りの引き戸を解体中、引き戸の三方枠の上部枠を取り外した際に、縦枠が倒れて頭部に当たり受傷してしまった。	40	10 ~ 29
2	11~12	作業場において、セメントを練る機械の清掃の為、トラックの荷台の上のパレットを使い機械を移動し清掃する準備をしていた際、足が隙間に引っ掛かり頭から落下しかけた為、自ら荷台から飛び降りる様な形で足から落下した。その際、地面に地ならし用の鉄板が敷いてあり着地した際、左足かかとを骨折した。	43	1 ~ 9
2	15~16	二人で長尺荷物を持って、棚の上に上げていた時、相手方が手を滑らせて、離してしまい、荷物を落下させたので被災者が支えきれなくて、自分の手の上に落としてしまい負傷した。	25	—
3	13~14	資材置場にて足場材を積み上げて片付けていたところ、積み上げていたものが崩れてきて右手小指を挟んだ。	42	10 ~ 29
3	14~15	外壁塗装工事において、仮設足場の撤去作業中、昇降用階段資材をトラックに積み込む際、右手で昇降用階段資材の下を持ち、トラック荷台に降ろしたところ、誤って昇降用階段資材のササラ桁と、既に積み込んであった昇降用階段資材との間に右手小指先端を挟み、負傷した。	42	50 ~ 99
3	21~22	会社の資材置場にて資材の整理中に、資材（ブラケット10本、約20kg）を右手で持ち上げた際に、バキッと音がして右肩に急激な痛みがはしり負傷した。	24	—
3	16~17	工場南面塗装工事にて足場をかけている際、足場材を立てて持ったときに右腕にズキッと痛みを感じた。	66	1 ~ 9
3	0~1	建築現場で、束ねた軽量材（アルミ数本、棒状）を持ち上げて上の階へ上げる際、結束バンドがはずれて軽量材が顔にあたり受傷した。	29	1 ~ 9
3	10~11	外壁張替工事（当社元受け）現場において、先輩社員が下屋屋根に上がり剥がした外壁材（アタン）を地上で待つ被災労働者に渡す作業中、二人のタイミングが合わ	16	10 ~

		ず、外壁材を受け取った際に手の中で滑り、材料端部分（切り口）で左手拇指と示指の間の指間膜を切った。		29
3	18~19	足場製品の3.6メートルの支柱（13kg）を2本手で持ち、トラックに積み込み中、すでに積み込んであった支柱の上に先ず左側をトラックの上に置き、右側を置いて積み込もうとしていた時、一本が手から離れてしまい、積み込んであった支柱のコマと手から落ちてしまった支柱のコマに右手示指先を挟み骨折した。	25	1 ~ 9
3	15~16	仕事の資材や道具を保管してある倉庫にて、使い終わった塗料の入っていた丸い空カン（20×20cm）を道具を使って踏み潰そうとした時、空カンが横にずれ、本人もバランスを崩して右方向に倒れ、右肘関節を脱臼した。	36	1 ~ 9
4	14~15	作業所南面外部仮設足場で足場組立の為、仮設材（ブレス2本）を荷上げ作業中、ブレス（3.7kg、1952mm）が足場8段目（GL+13.9m）からブレスを握り損ない、ブレス1本を落下させた。その際、足場2段目（GL+3.5m）にいた被災者の左頸部にブレスの先があたった。	22	30 ~ 49
4	18~19	資材置場新設工事の現場において、地面に置いた単管パイプを取ろうとした際に誤って単管パイプを踏んでしまい、転倒したときに左膝を強く打ちつけた。	30	1 ~ 9
5	13~14	建物向かって左側手前に掛けていた控えの単筒を地面から取り外した際に、単筒を手から滑り落としてしまい、受け止めようとしたところ地面と単筒に右手指を挟んだ。	32	1 ~ 9
5	15~16	事業所工場内にて片付作業中、鍍金材のトタン板を両手に持って移動の際に材の重さによりバランスを崩し、右手人差し指に材が乗り、指先を切傷（5針）した。	40	1 ~ 9
5	9~10	当社場内作業場において足場材（3.8mの支柱）の整理作業中、積んでいた足場材にストッパーを掛けずにいた為足場材が崩れ落ち、左足を挟み負傷した。	17	10 ~ 29
5	11~12	個人宅において、外壁及び雨樋工事中、解体した単管足場を積み重ねていたところ崩れ（長さ約3m、重さ5~6kg）、左足の上に落ちて左足小指を骨折した。	22	1 ~

				9
5	16~ 17	作業現場から弊社の資材置き場へ戻り、ダンプから道具等を降ろして片付け中に、足元の草むらでがさごそしたため蛇ではないかと驚いて体勢を崩し、近くに立て掛けてあった単管（直径50cm×3m程度）に当たったとき自分の方へ倒れてきて、単管についていたブラケットのボルトが左肩に直撃し、痛みとしびれの症状がでた。	47	10 ~ 29
5	16~ 17	SD枠を工務課トラックに積み込み中に手を滑らせ、既に積み込んであったLアングルの間に右手を挟んで裂傷した。当時、積み込みは設計課チーフと二人で行っていて、本人は手袋等の保護具を着用していなかった。	25	10 ~ 29
5	10~ 11	倉庫の壁を直すのに足場を組んでいた時、鋼管が倒れて落ちてきて、手骨にひびが入った。	69	1 ~ 9
6	8~9	作業車に足場部材の積み込み作業中、アンチと呼ばれる足場部材（1枚あたり重さ12~13kg）を4枚まとめて（計50kg位）肩の上に担ぎ上げるように勢いよく上げた瞬間に、腰に急激な力の作用が負荷され、激しい痛みを覚えた。	23	1 ~ 9
6	16~ 17	加工場において、H形鋼をトラックへ積もうとしていたところ手が滑り、左足の上に落とし、左足の第1趾基節骨を骨折した。	45	30 ~ 49
6	13~ 14	作業場において、OAフロアパネルを丸鋸ジグソーを使い加工していた際、保護メガネを装着していたが、完全に目を覆うタイプでは無いものを装着していた為、飛散した鉄粉が目に入った。そのことに当人は気が付かず、しばらくして視力の低下を感じ、眼科を受診したところ、左眼球に鉄粉及びそのサビが見つかり、被災が発覚した。	47	1 ~ 9
6	14~ 15	トラックに機材を積み込み作業中に突然、横に置いてあった鋼材（長さ3m）が倒れてきて、逃げきれず右腕を打撲し負傷する。	67	1 ~ 9
6	16~	新築工事現場で、倉庫の床にスタロホームを敷いて並べる作業中、敷き終わったので、基礎造成のための床の周りに掘削していた穴に一度降りて、上がろうと床の縁	46	10 ~

	17	に組んでいた鉄筋に足を掛けたところ、鉄筋が雨で濡れていたため足が滑り、掘削した穴（深さ約1m）に転落し、左肩等を打ち負傷した。		29
6	16~ 17	会社の倉庫内で、天井の軽天材をトラックに積み込むため小さくしようとバールで叩いたところ、メガネの下側から鉄片が当たって負傷した。	56	10 ~ 29
6	3~4	自社資材置場で、ピケ材の柱（長さ約3.8m、重さ約15kg）の片付け作業中、1本ピケ材の柱を壁に立て掛けていたが、不安定だったせいか、柱が倒れてきた。咄嗟に左手で受け止めたが支えきれず、地面に置いていた鉄かごの縁と柱のコマの部分とで指が板挟みになり、負傷した。	33	1 ~ 9
7	16~17	麦出庫のため、フレキシブルコンテナの上で作業を行い、作業を終えてコンテナから降りる際に、左足かかとから着地し亀裂骨折したもの。	25	1 ~ 9
7	15~16	本社、資材置場にて、屋根資材の整理点検中、屋根資材（トタン）の縁（側面）によって、誤って、指を負傷した。	48	1 ~ 9
7	19~20	会社の置場でトラックに足場の積み込み作業をしている時に、足場のパイプのバランスが崩れてしまい約40本の足場が全身にぶつかり、全身を負傷してしまった。	17	1 ~ 9
7	16~17	会社で仕入れた材料の手摺（1.8m、10kg）をトラックから降ろす作業中、手が滑って右足甲に落ちた。手渡しで作業していた。	30	10 ~ 29
7	8~9	原資材センターにて仮設資材の整理作業中金物カゴから部材（隙間ステップ）を取り出す際に手元がずれてしまい、カゴと手に持った部材の間で手を挟んでしまい負傷した。	30	1 ~ 9
7	15~16	上記被災場所にて鉄屑についている木材をかなづちとバールではがしていた時に、皮手袋をしていたが、そのうえから鉄屑で右手を切り、縫合する負傷をした。	16	1 ~ 9

7	13~14	鉄鋼アーケード解体工事作業中、鉄骨の柱が落下した際、左足に当たり負傷した。	66	1 ~ 9
7	16~17	資材置き場において鉄筋D51、L=400mm（約6kg）を研磨作業している際に加工台に仮置きしていた鉄筋が転がり左手中指に落ちて負傷した。	25	1 ~ 9
7	13~14	家屋解体工事中、1階付近で鉄骨ALCバラシ・ガス溶断・合番作業中、重機が2階から1m×1mのALCを降ろしていた。その際、2階に残っていたALC1枚がずれて落下、ヘルメットの上から頭に直撃した。すぐに作業を止め、現場で様子を見たあと、事業主に家まで送ってもらった。	42	1 ~ 9
7	14~15	倉庫でパイプを片付けている時束になっていたパイプの上に乗っていたら結束が不十分のため、束が倒れて足を挟んだ。	22	1 ~ 9
7	8~9	当社資材置場兼加工場において、屋根部材の鋼板（4000×700mm、1枚約2kg）の曲げ加工中、加工後に機械の手前に設置していた受け台（高さ約1m）に置き、鋼板20枚程度を繰り返し作業して、受け台に重ね置いていったが、重ね置きした鋼板を手前に引いたとき、受け台が手前に傾き転倒し、重なった鋼板が被災者の左足元に直撃し受傷した。	19	1 ~ 9
7	15~ 16	立てかけてあった鉄板の塗装をする際に、とめてあった受け台を外して作業しようとしたとき、自分の方に倒れてきた鉄板（200kg~300kg）の下敷きになり、顔面を打ち負傷した。	26	1 ~ 9
7	9~ 10	置場で足場材等の整理片付けをしている際に、パイプに左人差し指を挟んで負傷した。	46	1 ~ 9
7	10~ 11	基地トrolley庫内レール置場にてレール加工の作業中、切断したレール（L12.5m）を山越器を使用して仮置きをしようと吊り上げた際、若干山越器が傾いていたため、レールが壁側に横流れし、レール置場のレールとの間に指を挟み負傷した。	63	1 ~ 9

7	3~4	駅内工事で、脚立に乗ってメッシュシートビス止め作業中に、切粉が目に入り刺さった。そのとき、目の防護（ゴーグル）等はしていなかった。	29	10 ~ 29
7	7~8	当社資材置き場で、足場部材を積んだトラックのバタを開いたときに荷崩れし、左手拇指・示指の間を部材と荷台の床に挟まれ、打撲した。	19	10 ~ 29
7	15~ 16	外壁に使用する板金（長さ2m、幅20cm、厚さ0.3mm）を切断機で切断中、板金で右手親指をスライドし切傷した。	37	1 ~ 9
7	15~ 16	資材置場でトラックに足場材を積んでいたところ、足場材がトラックから落ちて、左下脇腹に接触した。当日は軽い痛みだけであったため、引き続き作業を行ったが、後日、痛みの他に貧血等の症状がでた。	37	1 ~ 9
7	10~ 11	前日に持ち帰った解体材を、工場にて二重配管（直径40cm、長さ5m、重量400kg）内の残留物回収のため、配管転倒防止用の歯止めを実施しようとした際に、中央突起配管部を固定していた作業員が手を放した瞬間に、配管が反対側に回転し、歯止めをしていた別の作業員（被災者）が、歯止めを使用した鉄製アングルと配管との間に左手小指を挟まれ、負傷した。配管端には、小径の配管切り口があり、切り口の尖った箇所と歯止めの間に左手小指が挟まれた。	40	1 ~ 9
9	14~ 15	倉庫内の片付け作業中に於いて、高さ約1.5mの積み上げた資材上から、最上部の資材がずれた為、滑り落ち床のコンクリートに全身を打った。	45	10 ~ 29
9	15~ 16	家屋解体現場の仮囲いを解体作業中、長さ3,600mmの支柱を3本かついで運び、トラックの荷台におろそうとした時に、バランスをくずし、支柱を荷台の上に落とし、右手の薬指の先が荷台と支柱に挟まり骨折した。	27	30 ~ 49
9	14~ 15	敷地内において、生産技術課建物の解体工事（元請）を行っていた。25センチ角、長さ10m程の鉄骨をトラックで運ぶ為に溶断し、切り分ける作業中、完全には溶断できていない状態で、どのくらい溶断できているか確認する為、右手で鉄骨（約200kg）を押さえ揺らしたところ、突然鉄骨が完全に切断された。その際、手袋を	28	1 ~

		していたが、雨でぬれており、右手のみでは支えきれず下に落ち、鉄骨の間に右手人差し指と薬指を挟めてしまい負傷した。		9
9	15～ 16	弊社の資材置場にて、足場材を片付け作業中、立てかけてあった足場材（鉄）がたおれ、右足にぶつかり転倒し、腰及び右足を強打したものである。	43	1 ～ 9
9	10～ 11	資材置場で資材の片付け作業中、4mの単管パイプ（2本）を担いで移動中、足元にあったバタ角（90m×90m、2m）に気付かず、つまずき転倒した。	37	1 ～ 9
10	16～ 17	会社敷地内、工場から4tユニック車へ廃材処理のため積み込み作業中に、廃鉄材を抱えバランスを崩し、落下した鉄材と下の木材に小指を挟み、反射的に引き抜いた際、裂傷した。廃鉄材は50kg程度の幅が広いものであり、二人での積み込み作業中だった。	69	1 ～ 9
10	9～ 10	自社の資材置き場で、バラになっている古い鉄筋を片付け中、先が曲がった鉄筋（鉄筋の先が鋭利になっていた。太さ1cm弱・長さ1m位）が伸びた草の陰にあり、それに気付かず踏んでしまい、左足裏の真ん中を負傷した。（ズックを履いていた。）	34	1 ～ 9
10	13～ 14	当社倉庫にて、撤去してきた材料（パイプ：口径100mm）を切断解体中に、ディスクグラインダが材料に引っ掛かり、誤って跳ねて左足にあたり負傷した。	31	1 ～ 9
10	10～ 11	店の手伝いで、天場にブロック積み作業中に、つまずき転倒して下階に落ちる。	57	1 ～ 9
11	8～9	被災者が1階の屋根にいて、他2人が2階の屋根からロープで鉄板のコイルを引き上げている際に、ロープから荷が外れて被災者の上に落ちて、荷と一緒に下まで落下した。	44	1 ～ 9
		現場で漁船の解体物品仕分け作業中に廃材が山に積まれており、下にあったアルミを掴んで引っ張ったところ、厚手のゴム手をはめていたので、強めに引いたため、		1

11	14~ 15	右の親指の所が3cm位切れた。本人は深い傷と思わず、その日は絆創膏を貼ったり強く縛ってタオルを巻いて我慢したが、次の日、血が止まらなく、痛みもあり病院に行った。	64	~ 9
11	17~ 18	構内で機材を高い所にのせようと、足を踏み込んだ先に、ドーリーが足元にあり、股を割るような姿勢になってしまい、右足大腿部裏側を痛めてしまった。	20	~ 9
11	16~ 17	テニスコートでフェンス支柱取り替え作業中にフェンス支柱をダンプに積み上げる際、肩に強い痛みを感じ、その後作業を控えた。次の日の朝も痛みが引かない為に通院した。	50	~ 9
11	17~ 18	棚の整理をしていたところ、棚から長い水糸が垂れていたため、強く引っ張って取ろうとしたところ、棚に打ち込んで糸を結んであった3~4cm位の釘ごと外れ、手先に飛んで来た。咄嗟に右手で避けたところ、右手中指の腹を負傷した。仕事柄、こてが握れないので、数日労務不能となってしまった。（作業靴、キャップ着用）	65	~ 29
12	1~2	ロングレール交換を実施中に、レールに張力をかけて引っばっていたところ、締結していた金具がはずれ、内側に移動し、作業していた本人の足に当たった。	45	~ 49
12	9~10	工場の屋根工事の現場で、下請として足場の解体作業を行っていた時、被災者が地上で足場の受け取りをしていたが手を滑らせ、足場材が落下し足にぶつかり、負傷した。	28	~ 9
12	10~11	1階店舗部コンクリートスラブ上で、被災者は徒歩で移動し、電気（加害者）は奥にある高所作業車を中央部に移動しているときに、被災者は右肩にアルミ製（長さ1800）の脚立を抱え、電気は高所作業車を移動するのに邪魔なフォークリフトを動かした。駐機していたフォークリフトのバックレスト部にビティー枠が9枚立てかけてあり、固定されていなかったが、電気がツメで持ち上げた。ツメを下ろすときに枠6枚が前方に倒れ、「危ない」の声でしゃがみ込んだ被災者の右肩部に当たり、被災した。	22	~ 9
		会社資材置場で年末の片づけ作業中、左前輪がパンクしていたダンプカーのタイヤ		1

12	16~17	交換作業をしていた。なかなかタイヤホイールが外れないため、ホイールの穴に指をかけて外そうとしたところ、無理に力が掛かり右手小指を骨折したものである。	64	~ 9
12	16~17	事業所の作業所にて、鉄筋棒他の片付け作業を行っていたところ、誤って右手中指の爪先部分に結束線（厚さ2~3mm）の先が刺さり負傷した。当初は小さなケガと思われたが、細菌等により化膿して痛くなった。	48	~ 9
12	6~7	ガレージにある1巻25kgの番線を、ガレージの前に停めていた車に積もうとしたとき、バランスを崩して番線を落とした。足に当たりそうになったため、それをかわそうとした時に、停めていた車に小指を強打した。	18	~ 9
12	13~14	自社土場にて資材の整理整頓中、1m~4mの単管パイプ資材の受け渡し中に、声の掛け合いが不十分で受け損ね、資材が左手に当たり負傷した。	10	27 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html